

## 創立記念日のお話

3月1日は本校創立50周年の創立記念日でした。本来なら、記念式典を行い、子どもたちや保護者の皆様、地域の皆様とともに祝いすべきところなのですが、校舎改築工事の影響で延期せざるを得なくなってしまいました。この記念式典は、平成27年3月ごろに、新校舎完成を祝う会とともに行いたいと考えています。

今日は、本校の50年の歴史を少し振り返ってみたいと思います。

武庫東小学校は、昭和37年4月1日、武庫小学校から分離独立し、武庫小学校の一部を仮校舎として10学級、391名の児童でその産声をあげました。38年2月には北校舎ができ、現在の地に移転しました。当時は黒板と机しかない状態で、武庫小学校から足りない机や椅子、教具等を子どもたちや地域の人々、先生方が田んぼのあぜ道を運んだのだそうです。

また、当時のこの地域の子どもたちは、塚口や西宮、芦屋の小学校に越境して通っている子どもが多かったのだそうですが、地域の方々は、阪急武庫之荘の駅前で「来年から武庫東小学校へかわってきますか」と呼びかけもされたそうです。そして、38年3月1日に開校式を行い、この日を創立記念日と決めました。

しかし、もともとあった沼地を埋め立てて、その上に校舎を建てたそうですが、運動場には小石がごろごろといった状態で、木々も少なく教育環境としては実に貧弱なものであったそうです。そこで、地域の方々は、多くの寄付をお寄せくださったり、樹木を岡本の方までもらいに行ってくださいたり、それを労働奉仕ということで植え直してくださったり、また、頻繁に保護者の方々が床磨きをしてくださったり、保護者と地域の方々と学校が一丸となって、まさに手作りでこの武庫東小学校を尼崎でも誇れるものに仕上げてくださいました。

そんななかで校章ができました。この校章は、まわりの六つの「コ」が武庫を表し、同時に手をつないで進む子どもたちをイメージし、中央には「東」を図案化し、子どもたちの円満な発達を願って制定されたものです。

また、校歌もつくられました。歌詞を地域一般から募集し、当時まだ25歳だった高井忠明氏の歌詞が採用されました。国語の研究で有名な神戸大学教育学部の楠道隆先生に見ていただいたところ、絶賛されたということです。作曲は、当時勤務されていた妹尾千鶴子先生によるものです。

### 武庫東小学校校歌

作詞 高井忠明  
作曲 妹尾千鶴子

一 光はおどる 輪になって

未来にひらける武庫の里

空に流れる雲にのせ

みんなの理想 とばそうよ

明日の世界へ とばそうよ

二 風はうたうよ 幸せを

未来に流れる武庫の川

緑をうつすせせらぎに

みんなの友情 流そうよ

あすの平和へ 流そうよ

三 力のはばたく まいあがる

未来にそびえる 六甲の山

夢にあふれる胸はつて

勇気とともに とびたとう

あすの希望へ とびたとう

